

津市防災だより

令和3年10月1日発行
令和3年第2号
防災室
☎229-3104 FAX 223-6247

津市自主防災協議会香良洲支部の取り組み

津市自主防災協議会香良洲支部会長 横井勝巳

香良洲町は伊勢湾と雲出川、雲出古川に囲まれた三角州の地域です。近年の南海トラフ地震に対する防災対策について、平成26年度に作成した「香良洲地区防災計画津波」の目標に掲げる「高まる意識、繋がる思い、みんなが安全、安心に暮らせる防災まちづくり」を念頭におき、毎年の防災訓練・水防訓練や、一人一人の防災意識を高める防災教育を小中学校の児童・生徒、保護者、老人クラブなどで実施しています。平成29年度に実施した防災訓練では、市民約600人が避難経路や危険箇所をチェックしながら香良洲高台防災公園(令和6年度完成予定)へ避難しました。

また、風水害の対応について、各地区の防災担当員と防災会長を含め、要支援者への避難時の連絡体制の確立と避難訓練の実施を進めています。

昨年11月1日、「コロナ禍における“新しい生活様式”を基本とした避難所の運営」をテーマとした津市総合防災訓練に参加しました。香良洲地域でもこの取り組みを広めていきたいという思いから、今年3月7日にサンデルタ香良洲で、避難所の受付訓練と間仕切り・段ボールベットの組み立て訓練を行いました。

受付訓練では、新型コロナウイルス感染防止のため、防護服、フェースシールド、マスク、手袋を着用し、受付時に避難者の体温測定、手指消毒の実施、健康チェックシートの記入・確認を行いました。そして、多目的ホールで3班に分かれ、地元消防団指導の下、間仕切りと段ボールベットの組み立て訓練を行いました。

今回の香良洲防災訓練は、コロナ禍であることから、津市自主防災協議会の防災担当員と一部の消防団員合わせて約30人という少人数での実施となりましたが、津市自主防災協議会香良洲支部では、この取り組みを多くの住民に広めていきたいと考えています。今後も少人数での開催になりますが、回数を重ね、防災意識を高めていきたいと思ひます。



備蓄品や防災グッズを見直しましょう

家庭で食料を備蓄する際は、3日以上のお備えがあると安心です。多めに食料の買い置きをし、賞味期限や保存した日付の古いものから順に食べていき、食べた分を補充する「ローリングストック法」も有効です。



また、避難の際は右表のチェックリストを参考に持ち出し品を準備し、感染予防のためマスク・アルコール消毒液・体温計はできる限り各自で携行してください。

持ち出し品チェックリスト

- 食料品**
 - 飲料水(保存水、経口補水液など)
 - 非常食(乾パン、缶詰、レトルト食品、乳児がいる家庭は離乳食など)
- 衣料品**
 - 履物(運動靴、スリッパなど)
 - 着替え(下着類を含む)
 - タオル類
- その他**
 - 感染予防グッズ(マスク、アルコール消毒液、体温計など)
 - ウェットティッシュ
 - 携帯電話、モバイルバッテリー
 - 貴重品(現金、身分証明書など)